



2025年7月27日(日)けやきロードフェスティバル

### 令和七年度の校友会活動にむけて

支部長 永代 達三(昭48政経)

今年、米の値上がり、米不足、地球温暖化による梅雨が短く、暑い夏が日本国中で報告され、野菜や果物の生育に大きな影響を与え、熱中症警戒アラートの発令が続きました。

今年の五月二十五日(日)に支部総会を行い、二〇二四年度の活動報告並びに決算報告。及び、二〇二五年度の活動計画並びに予算案等を出席された会員の皆様にご承認いただき、今年度の活動計画に基づき校友会活動を行うていくこととなりました。皆様の付託に添えるよう、誠心誠意校友会活動を行っていく所存です。

昨年実施した「サポーター募金」には多くの募金を賜り誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。今年も継続して実施していく所存です。募金は皆様の地域支部活動への期待の表われであると考えています。皆様のご厚志に添い地域支部活動が継続されていくよう努力して参ります。

現在、清瀬地域支部が設立から来年度に十五周年を迎えることから記念事業を検討し実施する予定です。五周年記念事業で実施した「けやきホールコンサート」のような清瀬地域支部校友会、大学、地域を巻き込んだイベントを企画検討中です。

地域支部活動の目的は繰り返しのようですが、会員相互の親睦、地域貢献を大きな活動の柱に、従来の活動をより一層活性化させ地域支部活動の充実を目指し、一人でも多くの会員の方はもちろん、地域の方にも参加していただけるよう努力していく所存です。



## 令和七年度の活動及び今後の活動について

清水 計明 (昭53 商)

地域密着型校友会を目指して今年度も活動して参ります。

着実に実施、充実している「紫紺句会」、発足三年目となります「篆刻教室」、健康増進を兼ねた「東京湾クルーズ」「ウォーキング」などのイベントをはじめ、情報共有のツールとして「清瀬地域支部ホームページ」のより迅速かつ効果的な活用をしていきます。

清瀬の自然を生かしたイベントとしては、「金山公園野鳥観察会」「台田公園観桜会」など恵まれた自然を満喫してゆきたいと考えております。

一方、母校の各キャンパスの充実度は目を見張るものがあります。駿河台校舎、和泉キャンパス見学会と実施してきましたが、今年度は生田キャンパスの見学を実施して参ります。

また、本年も硬式野球部、ラグビー部、競争部などを応援し、活躍を期待したいものです。

母校の応援、イベント参加も健康が有つてのもので、皆様方の益々のご活躍とご健勝を祈念しております。

今後とも校友の皆様の一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。



生田校舎・キャンパス



## 第十四回定時総会を終えて

清水 計明 (昭53 商)

去る五月二十五日、多摩支部支部長の土屋様、東久留米支部地域支部長の伊藤様を来賓にお迎えし、第十四回定時総会が開催されました。

令和六年度活動報告については、和泉キャンパス見学会を含め、九項目の計画を立て九項目全て実施され令和六年度決算報告と合わせて、出席者多数の挙手により承認されました。

令和七年度活動計画案及び令和七年度予算案も出席者の賛成多数を持つて承認されました。

清瀬地域支部校友会は発足して十四年経過し、来年度は設立十五周年を迎えます。来年度イベントを開催するにあたり、第六号議案「設立十五周年記念イベント案」についてを提案し、承認されました。

これからも、卒業生の親睦を深め、交流を促進し、社会貢献活動や地域交流を推進するために取り組んで参りたいと考えております。

その後、会場を移し、居酒屋で懇親会が開催され、大いに盛り上がり親交を深めました。



左から伊藤支部長、永代支部長、土屋支部長

## 令和七年度多摩支部総会報告

中村 曠 (昭36 政経)

令和七年度多摩支部定時総会が六月二十二日、ホテルエミシア東京立川で開催された。当地域支部からは永代支部長以下四名が出席しました。

定時総会は午後一時から開会、全ての議案が可決された。開会にあたり大学から榎本知佐理事の挨拶・講演がありました。

### 「大学の近況と将来について」

① 山の上ホテル取得について  
ホテル機能を継続し学生と地域社会交流の場として活用する

② 駿河台キャンパスの整備計画を進める

③ 新春恒例の箱根駅伝について

紫紺の襷プロジェクトを展開。Mの襷を再び・創立一五〇周年（二〇三二年度）に優勝を目指す

④ 生田キャンパスの新校舎誕生

⑤ 和泉キャンパスに近い「日本学園」について  
「明治大学付属世田谷中学・高等学校」として令和八年四月開校する

また、現況報告として入試志願者数が全国大学で第一位になり、女性の応募が多かったこと並びに一五〇周年記念事業推進の寄付協力要請などがありました。

総会後の懇親会は後輩の津軽三味線「響」の演奏に始まり、賑々しい雰囲気の中、多くの校友の懇親が広がられた。最後に恒例の参加者全員による校歌斉唱、万歳三唱でお開きとなりました。

多摩支部は全国最大二十一地域支部を有しており、再会には奇遇、偶然の出会いがあります。

私事ですが、同じテーブルの昭島地域支部幹事長武井大貴さんのご尊父様が娘の三十数年前の結婚式に参列・祝辞を頂戴した娘婿の恩師武井先生とわかり、驚



後列左から3番目が武井さん



いた次第です。  
 来年の多摩支部定時総会は清瀬地域支部が実行委員  
 として担当することになります。

新たな出会い・再会を期待し、多くの会員の参加を  
 願います。

### 設立十五周年企画について

粕川 偉三男 (昭48 政経)

きっかけはある女性会員からの発言でした。  
 「何かコンサート企画はやらないのですか」と。云わ  
 れてみれば「けやきホール」で開催した「設立五周年  
 コンサート」から十年近く経とうとしていました。新  
 会員獲得の為、イベント等のアイデアを検討するもの  
 の、コロナ禍の影響等により、思うような成果は見ら  
 れないのが実情でした。

令和六年度から実施した「サポーター募金」におい  
 ては、会員の皆様からのご賛同を賜り、多くのご厚志  
 を賜りました。令和七年度も継続させていただき、前  
 年同様多くのご厚志を賜りました事、厚く御礼を申し  
 上げます。

会員皆様のご厚志にお応えする事、女性会員のご発  
 言を具体化すべく令和六年七月の定例役員会で「十五  
 周年企画」を提案させていただきました。以降種々検  
 討を重ね令和七年二月に「設立十五周年企画修正案」  
 を提案させていただき、満場一致を以て承認されまし  
 た。

令和七年度「定時総会」において、令和八年度活動  
 計画に織り込むことで全員にご承認いただきました。  
 令和八年七月二十五日(土)に「けやきホール」の会場  
 を確保し、現在出演を予定している各団体と交渉を始  
 めております。コンサートのイメージは「五周年コン  
 サート」と同様に合唱コンサートを想定しており、企  
 画内容が煮詰まり次第、皆様にご案内させていただきます。  
 コンサートは会員皆様への感謝の意を込めて入場  
 料無料とさせていただきます。

乞うご期待！

### 台田運動公園の観桜会

粕川 偉三男 (昭48 政経)

三月三十一日(月)、恒例となった「観桜会」を満開の  
 桜の元で開催いたしました。永代支部長以下校友六名  
 と市内在住の一般市民の方二名の合計八名のご参加を  
 いただきました。

当日は生憎の曇り空で寒い日ではありませんでしたが、心  
 はすでに「花より団子」となり、お花見もそこそこに  
 隠れ家蕎麦屋「池添」に向かいました。

熱燗が五臓六腑に染み渡りました。十割そばを堪能  
 して、「来年も又」と約束してお開きとなりました。

満開の桜と美味しい蕎麦そして熱燗

最高でした



# 戦後八十年特別企画そのI

戦後八十年を迎えて（終戦まで満州生活）

中村 曠（昭36政経）

戦後八十年、終戦当時十歳に満たない私の記憶はあまり、両親の話しを自分の記憶と勘違いしているかもしれないがご容赦願いたい。

農家の四男の父は旧制中学を出て、地元の製粉会社で小麦粉の製造技術を学んだ。満州国建国の昭和七年頃、穀倉地満州に製粉会社設立の機運が高まり、日本の製粉会社数社による日滿製粉が設立された。新会社の運営に各製粉会社から若手社員が派遣された。その一員として父はハルピン（哈爾濱）市に赴任した。母も同道、二人の生活が始まり、昭和十二年春、私が生まれた。

広大な満州原野に南満州鉄道（満鉄）は路線網を拡大、製粉工場の建設も進んだ。短期の転勤も多く、「海倫（ハイロン）」、「佳木斯（シヤムス）」市に転動したハルピン（哈爾濱）市はロシアとの国境を流れる大河黒龍江の支流「松花江（スンガリ）」沿岸に位置し、帝政ロシアの崩壊に伴い逃れてきたロシア人（白系露人）が開いた街で、道路は石畳、西洋風建物の美しい街並みは北のパリと呼ばれていた。駅構内に一九〇九年に狙撃暗殺された伊藤博文の胸像があった。

海倫（ハイロン）は、未開の原野、暖房はペチカ、交通機関は馬車。まるで西部劇の砦のような社宅だった。

佳木斯市は三江省の東北端、ロシア国境に近く、「松花江」の沿岸に接し、ハルピン間の連絡船発着場でもあった。ただ冬季は全面氷結し、車両は氷上を道路としていた。会社の近くには飛行場、軍の兵舎、長野県

の開拓団「弥栄村」があった。眺望は樹木の無い山と延々と続く高粱畑が広がっていた。高い青空、秋には雁の群れが列をなし飛ぶ光景、空一面を真赤に染める夕日は忘れられない。ただ冬の到来は早く、長く厳しい。マイナス四〇℃にもなり、息で眉毛がくっついた。牛の涎が氷柱になったり寒かった。短い夏の初めには蒙古風襲来、空は黄色く砂埃に悩まされた。会社は松花江に近く、原料の小麦や製品の輸送用線路が敷設されていた。社宅は工場と道路を挟んで建ち、コンクリート二階建て、窓は二重窓、暖房はスチーム、社宅の囲いは頑丈な煉瓦造りで高く覆われ、上部に匪賊の侵入防止の高圧電流有刺鉄線が設置されていた。夜間にオオカミの出没もあり、夜間外出は厳禁。社宅の日本人は工場長一家と数軒の家族と少なかった。

私は学齢期になり佳木斯市の二校目になる在満「大和国民学校」にランドセルに戦闘帽姿で入学。通学は馬車（マチョウ）で送ってもらい、退校は徒歩か車の自動車に乗せてもらっていた。終戦まで約一年半の学校生活だった。

校舎は二階建て、一年生は一階、授業は「アカイアカイアサヒアサヒ」など、学芸会、遠足運動会もあった。夏は近くの忠霊塔に遠足、冬は全面氷結した近くの小川でスケートをしたり、また先生方が運動場に水を撒き作ってくれたスケートリンクでは冬の運動会、スケートのエッジを磨き、椅子を支えに早く一人で滑れるよう練習した。家でも父が庭に氷を張り練習用スケート場を作ってくれた。

しかし戦況は徐々に厳しく、物資不足も目立ってきた。ランドセル、スケート靴などの調達に父は苦労したようだ。担任の先生はゲートルに戦闘帽姿、朝礼は校庭で教育勅語、夏に校庭は菜種油採油用の畑に変わった。内地で撃墜したB29の残骸を見たり、日本とアメリカの飛行機の爆音の違いを聴き学んだりの毎日

だった。

日本人の友達は少なかったが会社の若い中国人守衛さんに片言の中国語を教えてもらったり、アヒル、鶏、豚を飼っている家に行き、暖房のオンドルを教えてもらったり、大皿に盛った醤油味の豚肉角煮などごちそうになったり、また、時々家に来て作ってくれた餃子やまんとうは美味しかった。

街路商の「赤く甘い水飴煮の杏」（タンホール）は絶品、一輪車の量り売り「栗餅」も美味かった。家の二重窓の隙間が天然冷凍庫に変身、凍った餅は搗き立ての餅に、りんごはシャーベットにバナナは黒くなるが実は真つ白など不思議な味の体験だった。

二年生に進学した昭和二十年になると、平和な日は短く戦況は一層厳しくなり、父は軍事訓練で招集、工場長はじめ会社の社員も次々に招集された。一方、母は臨月を迎えていた。父が一時帰宅した八月九日の防空演習の夜、灯りが漏れないようカーテンを引き、電灯を布で覆い夜を迎えた夜半、突然大きな爆発音に起こされた。ソ連軍による飛行場と軍の兵舎の爆撃を知った。父は母を入院させ軍に戻った。当時の私の記憶は全く無い。覚えているのは母が生まれたばかりの妹を抱き、弟と私達は佳木斯駅に停車していた長野県の弥栄村開拓団の列車（無蓋車）の片隅に乗せてもらった。八月十三日ごろだった。

戸籍謄本によれば昭和二十二年十二月十六日付で弟妹の死亡、及び妹の出生届が提出された。母が終戦、引揚を経て内地での最初の仕事だったのだろう。これまでの母の苦勞、悲しみは計り知れないものと痛切に感じた。戦後八十年のお盆を迎え、墓前に両親弟妹の霊を敬い併せて永久の平和を祈願した。

終戦忌

鉄路に野宿

逃避行

曠（平成二十七年八月終戦記念）

中村さんのこと、和田少年のこと

和田 寿文(昭49法)

梅狸庵篆刻教室と一緒に楽しんでいる中村さんが旧満州育ちと知りました。授業で旧満州のことは習いました。がこんなにも身近に旧満州育ちの方がいらしたとは！

中村さんの篆刻作品は何とも言えない伸びやかさがあがり、どつしりと構えた作風です。

たとえていかなければ谷村新司の「昂」や喜多郎の「シルクロードのテーマ曲」の世界感です。

『寿齡讚歌』 文化の日 学ぶ喜び 八十路かな

『晴耕雨読』 断捨離の 古書に未練の 夜なべかな

これは中村さんの清瀬市民文化祭出品の篆刻作品です。大陸の風を感じる作風と達観した如くの俳句、今はなんと二百六十二文字の『般若心経』を篆刻で挑戦中！ 尊敬します。人生いつだって青春！です。

物に動じない姿勢は真似できない大陸育ちの雰囲気です。すね。

中村さんが過ごした佳木斯(ジャムス)市は哈爾濱から約三百五十キロ、旧ソビエト国境まで百キロの国境の街です。以前拝読しました佳木斯大和在満国民学校の同窓会文集では多くの方が当時を古き良き時代の思い出として書かれています。

今回の中村さんの投稿は列車(無蓋車)に乗りこんだところで終わっていますが、そこからも苦難の連続だったことでしょう。

満州から地獄の逃避行。

事前に敗戦を感知して自己保身できた企業人や高位高

官と、逃避行のどきどきで命を落とした一般庶民…、あまりも落差が大きい。

私は第二次世界大戦終結後日本が連合国軍によって占領されていた一九五二年四月二日までの『戦後占領期』その『戦後占領期』後半の世代です。

子供のころは、「もはや戦後ではない(一九五六年経済白書)」はずなのに一般庶民はまだまだ貧しかった。当時は東横線学芸大学駅近くにいたけど、夏はスイカを縄で吊るして井戸の中に、また米穀手帳がないとお正月のお餅も買えなかった時代。

駅前商店街には何人もの白衣の傷痍軍人さんが物乞いをしており、軒を貸していたお店のひとつからこの方々は皆さん南方や中国方面で苦勞された方たちです、と教えられた。もしかしたら中村さんもこの方々も同じ船で帰国されたかもしれない…。多くの日本人の子供を救ったと言われている学校給食。米国産脱脂粉乳ミルク(冷えるのと膜が張りとても飲みにくい)や竜田揚げの鯨肉などが定番だった。

鼻たらしの小僧の楽しかった遊びは、線路脇の溝でザリガニをとったり線路に釘や小石を置いたり…。いまなら補導されますね(既に時効成立につき告白(笑))。

いまでも西武線踏切脇には「線路に石を置かないように」と看板が立っているのを見るにつけ、子供の悪戯は変わっていないですね。

多くの満蒙開拓団村があった満州各地。命からがら帰国できた人々、殺害されたり辛酸を舐めた人々、あるいは現地人に助けられたひとたち。

(小説『天地の子』や映画『黒川の女たち』や、満蒙開拓団の一員の北崎可代さん著の「中国人に助けられた…」などでこのような時代を経て戦後八十年を迎えました。

人々が理解と反省、助け合いの気持ちをもって戦後百年、さらにその先も笑顔の時代であることを願います。

中村さんからお話を聴いているうちにこのようなことを感じました。

そういえば中村さんの名前の『曠』は満州の広野の『広』をとったそうです。

左後列の左から三人目が中村さん



第40回『佳木斯大和在満国民学校・同窓会』 R1.5.25 於 神楽坂「翁庵」



資料

引揚者 約六五〇万人 内旧満州百万人、他の中国地区 百八十万(諸説あり)

A 級戦犯(東京裁判で裁かれた) 二十八名起訴、七名の絞首刑(十六名の終身刑)

BC 級戦犯(海外で裁かれた) 約五千七百名起訴、千名弱死刑(約五百名無期懲役、約三千名の有期刑)

学徒出陣者数 二万五千人

我が大学の先輩方四六〇三名出征、戦没者三二四名(大学HPによる)

## 戦後八十年特別企画そのII

六大学野球百周年とミスタープロ野球

梶谷 榮吾(昭46法卒)

東京六大学野球連盟は大正十四年に結成され、本年百周年の年を迎えました。選手や審判は百周年記念ロゴワッペンを袖に貼り付け春と秋のリーグ戦を戦っています。また、今年は、昭和百年、戦後八十年の節目の年でもあります。このような年に昨秋に続き明早優勝決定戦が行われることになり、六月四日(水)の試合観戦に神宮球場を訪れました。昨秋の優勝決定戦では明大は完敗でした。その雪辱を期待したのですが、残念ながら今回も5対6の惜敗となり、早大の四十九回目の優勝となりました。試合後に閉会式が行われました。優勝決定戦がなければ六月一日(日)の早慶戦の後に行われるはずだった閉会式ですが、雨の順延もあつて四日となりました。

さて、優勝決定戦の前日六月三日(火)の未明に立大OBの長嶋茂雄氏が肺炎のため八十九歳で亡くなりました。彼の立大選手としての六大学野球での活躍やその後の読売巨人軍での活躍を思うとき、日本中が昭和のレジェンドを失った悲しみを味わいました。閉会式は彼の追悼式の間があり球場全体が厳肅な空気でした。

場内アナウンスにおいて、長嶋氏の六大学野球での五シーズン連続ベストナイン、当時の六大学記録であるホームラン八本などの活躍や、プロ野球読売巨人軍における選手・監督としての活躍、一九八八年に野球殿堂入り、二〇一三年に国民栄誉賞受賞などが紹介され、バックス

クリーンには彼の映像が流れました。その後、彼のご冥福を祈り観客も起立脱帽のうな黙祷が行われました。球場全体が静まりみんな長嶋氏に思いを馳せる瞬間でした。また、加藤連盟理事長の挨拶では、長嶋氏を称える「日本の野球界に多大な貢献、戦後日本の象徴、国民のヒーロー、レジェンドであり永久に語り継がれる存在」という言葉がありました。みんな納得する言葉でしょう。六大学野球が輩出した誰にも愛される素晴らしい人間だったと思います。

今春のリーグ戦では立大の山形選手が史上十八人目の三冠王を獲得しました。立大では五十九年ぶり二人目の快挙です。閉会式で表彰される山形選手の姿に同校OBの長嶋氏の活躍した時代を偲びました。閉会式に参加して長嶋氏とお別れできたように思いました。



球場を

静める黙祷

走り梅雨 榮吾

明大スポーツNOW

箱根駅伝く高まる期待

梶谷 榮吾(昭46法卒)

四月二日に明治大学創立百五十周年記念事業「紫紺の

襷プロジェクトくMの輝きを再びく」のキックオフイベントが開催され、私はプロジェクトの内容に興味があつて参加しました。このプロジェクトは明大創立百五十周年の二〇三一年度の箱根駅伝(二〇三二年一月開催)で優勝することを目指すという大きな挑戦です。その重責を担って四月に実績のある大志田秀次氏が駅伝監督に就任しました。彼は中央大学で活躍し、東京国際大学監督としても好成績を収めています。実は彼は私の母校の高校の後輩に当たります。

優勝七回を誇る明大ですが、第二十五回大会(一九四九年)を最後に七十六年間優勝から遠ざかっています。今年の第一〇一回大会は、予選会第十二位で敗退し出場できませんでした。第百回大会総合第二十位、第九十九回大会総合第十二位、第九十八回大会総合第十四位、第九十七回大会総合十一位と、シード権を逃しています。第九十六回大会の総合第六位から六年間低迷していることになりました。

一年生の時に活躍した堀君や森下君は四年生、綾君や大湊君は三年生です。四年間はあつという間に過ぎ去ります。選手には大学生活の記念となる予選会突破をして本大会でシード権(十位以内)をとってほしいものです。キックオフイベントのときに室田主将は、個人としては第十区で区間賞を目指すと決意を表明していました。十区で十位以内のシード入りを果たす母校の姿を想い期待しています。

〈全日本大学対抗選手権大会関東地区予選会の結果についての感想〉

箱根駅伝の前哨戦ともいえる全日本大学対抗選手権大会関東地区予選会が、五月二十四日(土)開催されました。関東地区の出場枠は十五校ですが、前年度の上位八

校(すべて関東の学校)がシードされ予選を突破できるのは七校だけです。昨年は予選八位で惜しくも敗退しました。今年も新監督の下で最初の駒伝予選会でしたが、結果は残念ながら第十位で二年連続の予選敗退となりました。

シード校八校が上位の成績であると仮定すると明大は十八番目ということになります。この結果を箱根駒伝に重ねてみました。箱根駒伝に出場できるのは二十校、前年度十位までのシード校を除いて予選を突破できるのは十校のみです。近年新興校が力を入れており今の明大の力は予選突破ぎりぎりの厳しい状況にあると言えますが、紫紺の襷プロジェクトの初年度を、何とか予選突破してほしいものです。

いよいよ十月十八日(土)に第二〇二回大会の予選会が開催されます。今年から暑さ対策のためスタートを一時間早め朝八時半のスタートとなります。現地(立川駐屯地・昭和記念公園)に行くかテレビ観戦するか、みんなで応援しましょう。正月の風物詩でもある箱根駒伝に明大が出場し胸の「M」のマークが躍り、全国の校友を楽しませてくれることを願っています。



### 【紫紺俳壇】

#### 紫紺句会指導

俳句結社「隗」 主宰 細見 道子  
雨宿りてふ愉快あり驟(はし)り雨

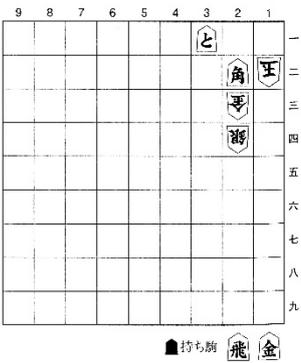


#### 紫紺句会

- 借老や草の錦の五十年 穴田 作道
- 炎天下傘の花咲く観光地 永代 達三
- 三伏やキッチンカーの列長し 粕川偉三男
- 園児らの黄色い声や蝉の森 小林 信夫
- ジグザグに灯りの列や夏の富士 佐藤 房夫
- 小滝干り乾くにまかす鹿おどし 杉山 陽一
- 経文を硯に刻む盆供かな 中村 曠
- 茅の輪超しノミ音響く宮大工 西尾 修一
- 槍穂高見えても遠き登山宿 柁谷 榮吾
- 遠雷に気持ちそぞろに仰ぐ空 村野 良明

#### チャレンジ!

#### 詰将棋(五手詰) 回答は次頁



### フォト・エッセーシリーズ ⑮

#### 清瀬の夏風景二題

粕川 偉三男(昭48政経)



柳瀬川 川祭り



ひまわりフェスティバル



けやき通りフェスティバル





恒例の懇親会 埼玉タンメン山田太郎清瀬北口店にて 皆様もお気軽にご参加ください！

- ◆ 懇談会 基本毎月第一日曜日
  - ◆ 紫紺句会 基本毎月第一金曜日
  - ◆ 篆刻教室 基本毎月第二水曜日 (臨時開催あり)
  - ◆ 生田校舎見学会 十月八日(水)
  - ◆ 国分寺歴史探訪 十月十日(金)
  - ◆ 箱根駅伝予選会 十月十八日(土)
  - ◆ クルージング 十月二十七日(月)
  - ◆ 市民文化祭「篆刻」出品 十一月一日(土) 一日(日)
  - ◆ 多摩湖ウォーキング 十一月二十二日(土)
  - ◆ 明早ラグビー 十二月七日(日)
  - ◆ グリークラブ定期演奏会 十一月十三日(土)
  - ◆ 忘年会 十二月十四日(日) 予定
  - ◆ 新年会 一月初旬予定
  - ◆ 野鳥観察会 二月初旬予定
- 皆様の参加をお待ち申し上げます。

NPO法人

**健康遊技たんぽぽ**

○健康麻雀  
 午前の部 10:00~13:00 600円  
 午後の部 13:30~16:30 600円  
 一日の部 10:00~16:30 1,100円  
 \*入会金...1,000円  
 \*年会費...3,000円  
 ☆セットのお客さま大歓迎 (要予約)

清瀬駅南口から徒歩1分  
 清瀬市松山1-11-17 杉田ビル2階  
 ☎042-495-7708

**篆刻を楽しみま書**

「てんこく」は書道芸術の一分野です  
 頭と手先、フル回転の楽しみ！  
**「梅狸庵篆刻教室」**  
 『教室』清瀬駅前アミュー講座室  
 『日時』毎月中旬の水曜日午前  
 和田 寿文 (S49法)  
 bairian510195@gmail.com  
 042-495-3349  
 未経験者大歓迎、  
 お気軽にお問合せを

ポスター  
 パンフレット  
 会誌・自分誌など

環境にやさしい  
**(有)スガハラ印刷**  
 〒204-0022  
 東京都清瀬市松山 2-7-14  
 TEL 042-492-2210  
 FAX 042-491-8118  
 E-mail :  
 sugahara@sugahara-p.co.jp

◎清瀬地域支部の情報は  
 校友会清瀬のホームページ  
<https://meiji-3.jimdofree.com/>

ご意見・ご要望をお知らせください！皆様の会報として地域の情報など、どしどしお知らせください

編集部一同  
 連絡先：粕川偉三男  
 kiyose\_125@shikon.meiji.ac.jp

この会報は校友会会員皆様の大切な年会費で発行されております。皆様に、より身近な情報をお届けすべく努力しておりますが、ご満足いただけただけでしょうか。会報をより充実させるために、皆様の忌憚のないご意見をお待ち申し上げます

註 将棋解答

▲一 二角成 合同 桂  
 ▲三 一龍 合二 合駒  
 ▲二 一銀 まで5手詰

サポーター募金にご協力いただいた皆様 (順不動)

佐藤裕昭様 関 滋様 中澤亜男様 渡部辰朗様  
 笠原浩治様 関根文子様 穴田作道様 永代達三様  
 佐藤房夫様 中村 曠様 村野良明様 坂田泰行様  
 福島 寛様 和田寿文様 斎藤伸一様 高橋昭夫様  
 森下 正様 小山知常様 溝田 充様 光藤 寛様  
 清水計明様 吉田俊夫様 梶谷榮吾様 西尾修一様  
 気賀沢洋一様 粕川偉三男様 匿名一名様

改めて紙面をお借りし、感謝申し上げます。